

縄文土器について知ろう



小山市立博物館

縄文土器って???

- 日本で1番始めに使われ始めた素焼きの焼き物。
- 今から1万6500年前（縄文時代より前）から使われていた。
- 発見された多くの土器の表面に縄目の文様が見られたことから、縄文土器と名前がつけられた。



縄文土器

(小山市 寺野東遺跡より出土)



縄文時代の竪穴式住居

(小山市立博物館常設展示 復元模型)

何に使われてたの??

- 食べ物を煮たり、炊いたりする。
- もの（食料となる木の实など）をし
まっておく。
- ものをに入れて運ぶ。
- 祭りなどの儀式で使う。
- 水を入れておく。
- 死んだ人を入れて、埋葬する棺として
使う。
- その他（楽器、酒造り、ランプ）

さまざまな使い方があったようです。



縄文土器

(小山市 寺野東遺跡より出土)

縄文土器の形は??

作られた時期や使い方ですさまざまな形があります。主な形は鉢（はち）と呼ばれるものです。これには浅鉢と深鉢があります。

他には、つぼや他の土器を乗せる器台と呼ばれる形もあります。



縄文土器

(小山市立博物館 常設展示室)



縄文土器

(小山市 寺野東遺跡より出土)

弥生土器との違いは??

縄文土器は、野焼きで低温で焼かれています。厚手で縄目模様が特徴です。

一方の弥生土器は、野焼きから土器に土をかぶせて高温で焼く方法に変わり、薄手でも割れにくくなりました。さらに直線や幾何学模様などの手の込んだ模様が多くありますが、飾りなどはあまり見られず、質素な見かけが多いです。

縄文土器

(小山市立博物館 常設展示室)



弥生土器

(小山市立博物館 常設展示室)

縄文土器を作ろう！

博物館では、「縄文土器を作ろう」という講座を行っています。

粘土を使って、自分の手で形を作っていきます。形ができあがると、1か月ほど乾燥させてから、博物館にある窯で焼成します。

興味のある人は、ぜひ参加してみてくださいね。

